

1 事案

県立中高一貫校の設置に向けた具体的な検討を再開することとしたい。

2 県立中高一貫校設置に係る方針(案)

< 設置検討案 >

【設置形態】

併設型中高一貫校（普通学科の県立高等学校に県立中学校を新設する。）

【学級数】

新設中学校は1学年2学級規模とする。

【設置場所】

東部地区又は中部地区とする。

【設置時期】

平成25年度を開校目標とする。

< 設置推進協議会 >

円滑な設置に向けて検討する上で、関係市町教育委員会等の意見をいただく。

構成案	関係市町教育委員会 小学校長会長、中学校長会長 小学校保護者代表、中学校保護者代表 県教育審議会会長 先進県の中高一貫校関係者
-----	---

3 県立中高一貫校の設置に向けた検討の経緯

パブリックコメント実施（平成19年12月～平成20年1月）

設置の是非	賛成	90人(64.3%)
	反対	23人(16.4%)
	不明	27人(19.3%)
設置場所	東部	23人(46.0%)
	中部	8人(16.0%)
	西部	7人(14.0%)
	各地区	8人(16.0%)
	その他	4人(8.0%)
設置形態	併設型	18人(69.2%)
	中等教育学校	4人(15.4%)
	連携型	4人(15.4%)

県教育審議会第一次答申（平成20年6月）

導入の意義	生徒や保護者の学校選択の幅を拡大 できるだけ早期に設置することが望ましい
設置形態	普通学科の県立高等学校への併設型
設置校数	当面、県内に1校
設置地区	東部地区又は中部地区
留意点	小学校教育への影響や、地域の中学校に生徒減少や学級減などの影響が予想されるため、市町村教育委員会と連携すること 県立中高一貫校設置に当たり、国立、私立等、県立以外で設置の動きがある場合には、配慮が必要

鳥取大学能勢学長の発言（平成20年10月）

「平成22年度か23年度の開校を目指して文部科学省と調整を行う」

鳥取大学の動向を見守ってきたところ

平成21年12月22日 鳥取大学学長・教育長協議

平成22年1月22日 知事定例記者会見

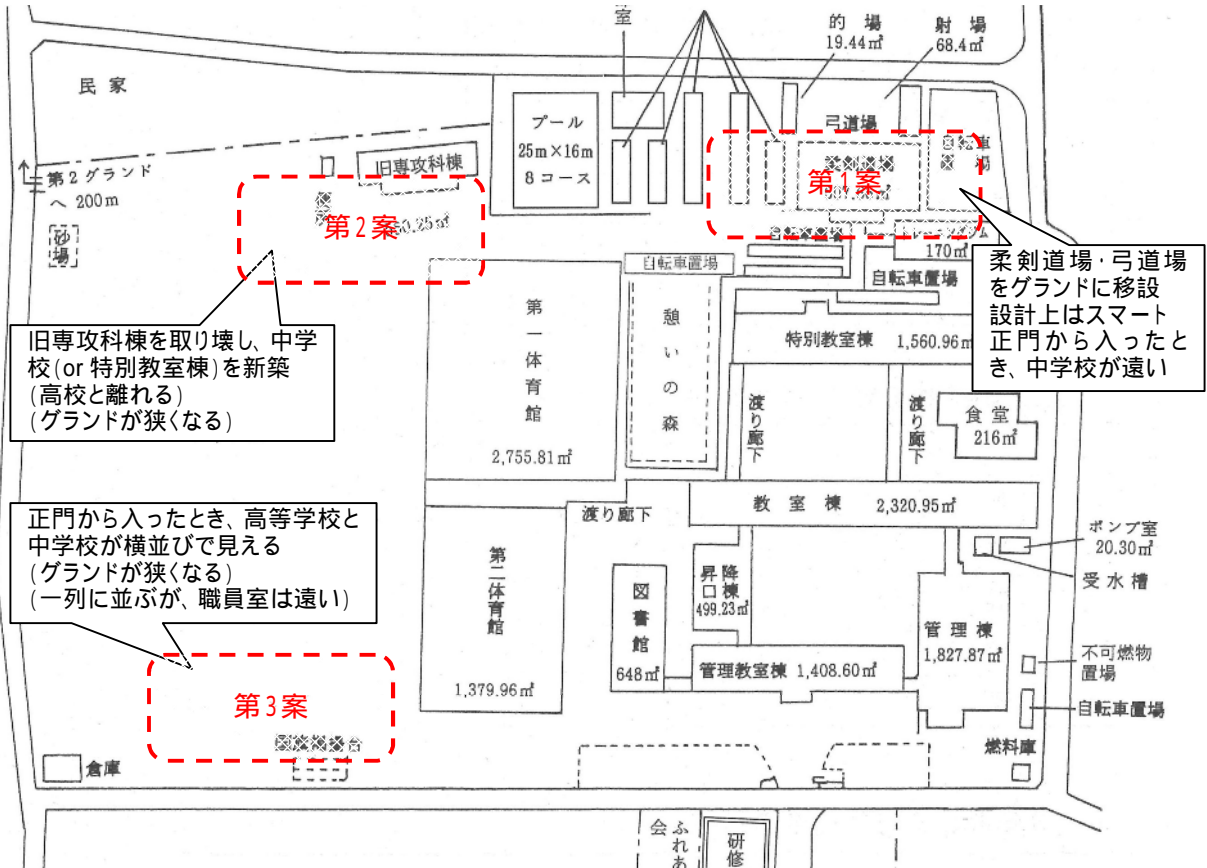
「鳥取大学の中高一貫校設置が難しくなったため、県立の設置に向けた検討を再開する」

中高一貫教育設置校に関する比較検討資料

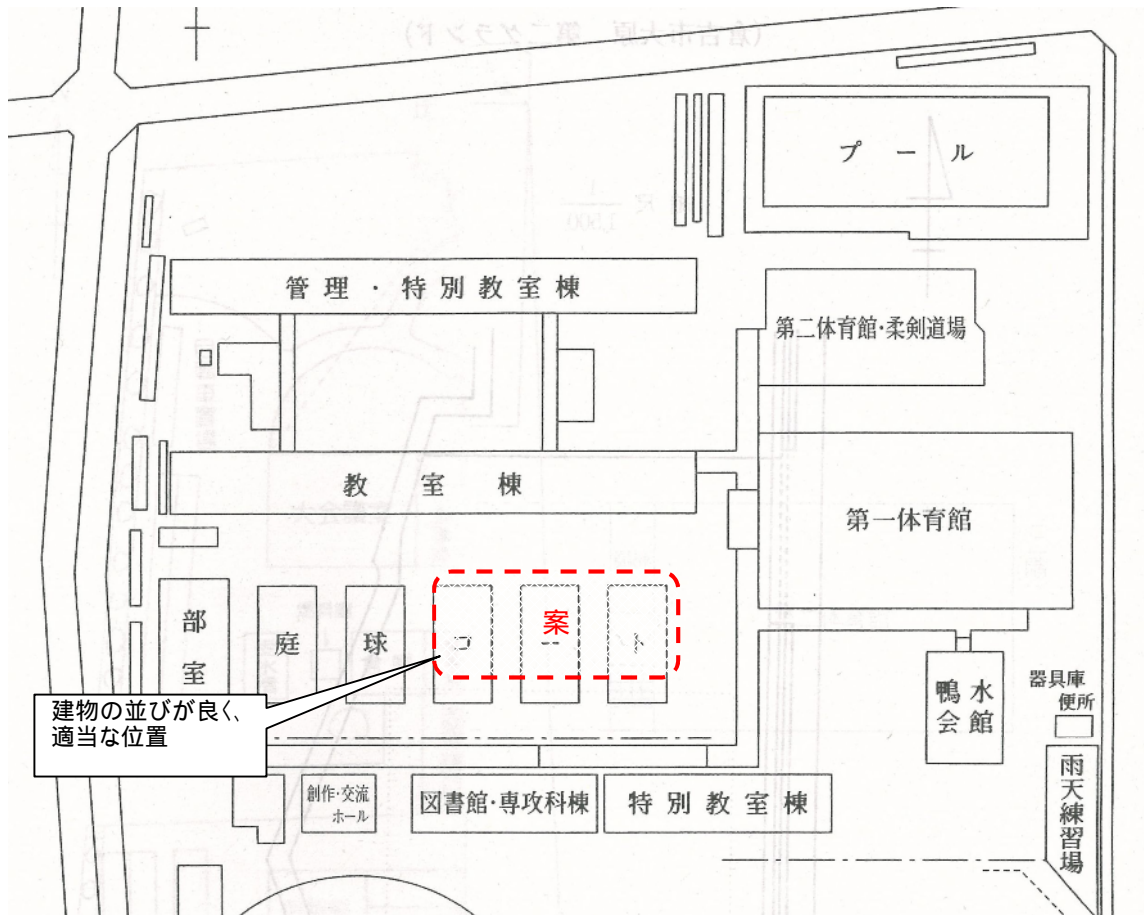
項目	鳥取東	鳥取西	八頭	倉吉東	倉吉西
増築の可否		×			
交通の利便性					×
地域の中学校への影響			×	×	×
私立中高一貫校への影響				×	×
プール		×			

中高一貫教育校設置に関する検討用地図

鳥取東高等学校



倉吉東高等学校



八頭高等学校

